

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 胸腔内発生の神経鞘腫における発生神経やサブタイプ（亜型）による治療成績等の差異の調査

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 土田浩之（呼吸器外科・医師）

[研究の概要]

■ 目的・方法（研究期間も含む）

研究期間：実施承認後～2023年3月31日

目的：神経鞘腫は末梢神経鞘のシュワン細胞に由来する良性のカプセル化された最も一般的な神経原性腫瘍で、網状型・メラニン型・小嚢細胞型/網状型などのサブタイプ（亜型）が存在する。これらの胸腔内発生の神経鞘腫における発生神経やサブタイプによる再発リスクや術後の至適観察期間をまとめて報告されたものはこれまでに多くない。

今回、後ろ向き研究で情報を収集し、臨床的特徴を含めて調査することで今後の適切な治療方針や術後管理の一助となる可能性がある。

方法：診療記録を用いた観察研究

■ 対象となる患者さん

当院の電子カルテに保存されている、2000年1月から2022年11月までに当院で手術加療を行った胸腔内発生神経鞘腫の方

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：以下の臨床情報を診療録から取得します。

- ①臨床所見（性別、年齢、基礎疾患有無、病理像、画像所見、発生起源神経）
- ②治療（術式）
- ③治療成績（術後無再発生存期間等）

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

土田浩之、呼吸器外科

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971